

第3回 湖西市地域公共交通会議 会議録

日 時：平成28年11月18日（火） 13時30分～16時00分

場 所：湖西市民活動センター2階大会議室

出席者：20人

会長	丸谷 由行	湖西市副市長
副会長	片山 彰宏	湖西市企画部長
座長	伊豆原 浩二	愛知工業大学 客員教授
委員	新村 俊明（代理）	遠州鉄道株式会社 運輸業務部長
委員	大久保公雄	浜松バス株式会社 支配人
委員	杉山 浩一	遠鉄タクシー株式会社 営業部長
委員	平野 洋一	社団法人 静岡県バス協会 専務理事
委員	鈴木 成幸	中部運輸局静岡運輸支局 首席運輸企画専門官
委員	田所奈保子（代理）	静岡県 交通基盤部 地域交通課長
委員	良知 孝悦	静岡県 浜松土木事務所 維持管理課長
委員	小林 次男	静岡県 湖西警察署 交通課長
委員	竹島 清一	湖西市自治会連合会 会長
委員	田内 清之	湖西市老人クラブ連合会 会長
委員	土屋 正征	湖西市社会福祉協議会 会長
委員	内山 安弘	新居町商工会 事務局長
委員	堀尾 典男	市民委員
委員	小笠原 昌之	市民委員
委員	佐々木 由美子	市民委員
委員	山本 渉	湖西市 健康福祉部長
委員	藤井 公和（代理）	湖西市 都市整備部長
事務局	小林 良治	(株)国際開発コンサルタント
事務局	渡辺 一真	(株)国際開発コンサルタント
事務局	小林 利幸	湖西市 企画部 市民協働課長
事務局	石田 裕之	湖西市 企画部 市民協働課長代理
事務局	佐原 敬	湖西市 企画部 市民協働課 公共交通係長
事務局	村松 慶太	湖西市 企画部 市民協働課 公共交通係

配付資料：会議次第、名簿、時刻表、地域公共交通連携計画の評価について

1 開会

2 会長挨拶

3 報告事項

湖西市地域公共交通網形成計画策定のスケジュールについて

<事務局>

- ・資料 1 の湖西市地域公共交通網形成計画の策定スケジュールに基づき、スケジュール、資料について説明。

<座長>

- ・地域公共交通連携計画の見直しも踏まえて、資料 1 のスケジュールで進ませて頂く予定です。質問、意見がなければ次の協議に進めさせていただきます。

4 協議事項

協議事項① 湖西市における地域公共交通の課題について

<事務局>

- ・資料 2、3 に基づいて説明。

<座長>

- ・前回の会議では、アンケートの実施まで検討させて頂き、今回はアンケートの結果として課題を 4 つにしぼらせて頂いた形になります。何か質問、ご意見ございますか。

<委員>

- ・市民アンケートと書かれているが、利用者の直接の声はあるんですか？

<座長>

- ・資料 3 の中に書かれております。

<委員>

- ・形成計画策定に当たって、連携計画からのつながりをわかりやすくして欲しいと意見させて頂いてますが、今回資料を見させて頂いたところ、資料 2 に個別課題とあります。中央にあります資料 3 対応について、もう少し厚くしたほうがいいと思います。

この資料から、個別課題に結びつくということを詳しく書かれたらいいと思います。

また、下の主な課題②につながっていきますが、地域の特性は何であるかという点に関して、資料 2 をみても関連性が見えてこないなので、地域の特性を把握した上で②の課題につなげるには、もう少し厚みが必要であると思います。

<座長>

- ・主な課題②を例に言ってもらったが、②は全ての課題につながっているが、④市民事業者・・・が検討する必要があります。というのは、調査区分の市民アンケートの右に 1 つだけに○がついているが、つながりがわかりにくい。そこを詳しく説明して下さい。

<事務局>

- ・資料3から得られたデータや課題をここに載せさせて頂いておりますが、例えば今後、各地域へ出向いていった中でも地域特性が把握できると思うので、もう一度整理する必要があると考えています。この地域特性という点は、5年前に交通基本計画を作ったときに、そもそも湖西市の成り立ちが5ヶ町村が合併したことで、村ごとに地域が点在しており、地域ごとの特性が明らかにあります。

そのような様々なニーズがあるということを知った上で、バス路線を構築しました。当初は、5ヶ町村の移動するためのバスということもあり、途中の地区の人が乗らないという課題もありました。当時の計画の主課題も計画に反映させていきたいと考えています。

また、主な課題④の各種団体が連携していく施策として、市民の住民参画としてしか〇がついておりませんが、例えば、各種団体等が事務局に意見を言っていただいて、市民全体で交通を支える仕組みがあったらいいという意味合いで④が掲げられております。

今もそういった仕組みは構築されていますが、更に住民の皆様に関わって頂いて、公共交通を維持確保していくことで④を課題としてあげさせて頂き、今回までの整理では、市民アンケートの部分にしか〇はついていないところですが、もっと紐解いていくと該当するものがあるのではないかと考えています。

<委員>

- ・主な課題④を説明して頂いたところで、もう一点確認させていただきたいのが、連携計画の総括の資料17Pに進行管理業務とあります。資料2の主な課題④は、この17Pでいう公共交通会議、市民の皆様の意見を踏まえてこの資料を策定したということでしょうか。

<事務局>

- ・ここに関しても、PDCAを回していくという仕組みはできつつあるんですが、まだまだ充足してないところであります。現在、市としては、市民参画に力を入れたいと考えております。

市役所とバス事業者で利用促進していますが、地域の皆様から力を頂きたいと考えています。まだ案の段階ですが、市民の皆様から市民委員といいますか、事務局に意見を言っていたり、応援、監視していただくような仕組みを今年度中に考えたいと思っています。

<座長>

連携各の17Pを踏まえて事務局の活動にいたっていると解釈していいですか。

<事務局>

- ・そうです

<委員>

- ・市民委員として参加していますが、地域によって差があると思います。白須賀地域は医者がいなくて、湖西病院に来るしかないという状況もあるかと思います。それぞれの地域の特性があるのですから、

それぞれの地域の人がバスを利用してどのように暮らしたいか言ってもらうのがいいと思います。それぞれの地域に行って、困っていることを言ってもらい、資源である「コーちゃんバス」を使ってどのように暮らしをしていきたいのか考えていくべきだと思います。

資料3に率直な意見が多くありますので、反映されるといいなと思います。

<座長>

- ・今おっしゃったように、主な4つの課題としているが、地域毎に生活スタイルが違うのであれば、地域ごとの状況を踏まえて、どう生活を目指してもらうか構築していく必要があると思うが、この4つでは地域特性という言葉だけで片付いていますが、どうですか。

<事務局>

- ・資料5になりますが、地域ごとにグループワークを考えています。それらの意見も集約していきたいと考えています。

<座長>

- ・この4つの課題以外にも整理していくのか、今の段階では4つに集約したが、今後変わっていくのかどうですか。

<事務局>

- ・今回は大きな4つで課題を整理させて頂きましたが、今後グループインタビューであがってくる課題というのは、各路線の問題であったり、これら主課題に影響を及ぼさない部分があがってくると考えています。今は主な課題についてはコンサルとつめている段階です。

<座長>

- ・課題は整理したが、形成計画を作るという発想のもとで動いているので、形成計画に課題があって、どのような動きをするか方針を出すわけだが、目標を達成するために動く事業が必要です。地域の皆さんにインタビューしたいのは、これから何をしていくのかを問うものだと解釈しましたがそれよろしいですか。

<事務局>

- ・そのとおりです。

<委員>

- ・誰もが乗れる地域公共交通ということで、それぞれの意見を見ていくと、バスじゃなくてもという意見もあるようですが、タクシーなど、これから考えていくのに、バス以外の選択肢もあるのですか。

<事務局>

- ・最初、コーちゃんバスを走らせたが、定時定路線、1台1人工という条件で開始しました。地域に応

じてバスを走らせましたが、現在の費用対効果ということで、利用者が少ない地域では最適かどうかはわかりません。利用者の少ない地区では、デマンドの運行方法もございませし、乗合タクシーで行くのか、定時路線、デマンドなど今の形が永続的に続くのではなく、様々な需要や事例を研究しながら地区にあったあり方を検討をしていきたいと思ひます。

<委員>

- ・私は最初からデマンドがいいと主張していたが、当初はバスかデマンドかどっちでもいいではないかということがあったが、バスにさつと決まってしまう気がする。今までの会議でデマンドの検討はなかったように思ひ。バスありきで話をしていたのに、今ここで全面的にデマンドに変わるということもありえるのですか？

<事務局>

- ・デマンドの話は当初定時路線のバスを運行してから3年経過後くらいに、ある地域でデマンドが適しているか対応できるかを調査調整をしましたが、実施にはいたっておりません。確かに、デマンドが適していると考えられる地域もありますが、磐田市などのように全面的にデマンドにすることが湖西市にあっているとは考えておりません。

今、白須賀鷺津線、岡崎鷺津線などの利用者が伸び傾向にあり、需要のあるバスルートもあることから、交通空白地域にデマンドでカバーをしていくなど、5路線を全てデマンドにすることは考えておりません。おそらくデマンドが適している地域はあるのではないかと考えておりません。しかし地域の合意が得られらなかつたりして、実施にはいたっておりません。今後、柔軟に対応していきません。

<委員>

- ・そういう調査、部分的には無理という話が報告されていらないのに、いきなり話をされてもよくわからない。

<事務局>

- ・昨年の評価改善委員会で市が取り組みをやつてきたと説明させて頂いておりません。昨年報告させて頂いた中では、項目の中の一つとして挙げられていたもので、扱ひが小さかつたかもしれません。報告書という形で報告はさせて頂いておりません。

<座長>

- ・今までの連携計画を踏まえて実施してきたが、まだやりきれないところもあつて、だからこの評価があり、それを踏まえて考えていこうということだす。

デマンド交通ということになると、いろんな仕組ひがあつて、どれが適正かは市民の皆様と膝をつきあわせてやつていかないとまくいかない。だから、グループインタビューを踏まえて検討していききたいということだす。

<委員>

- ・ゼロベースで見直すというのが今年だと思うのだが、コーちゃんバスを実施した経緯を踏まえて、これでいいのか、悪いのかと話し合うのが必要だと思うのだが、バスだけでなく他の仕組みも検討していくべきだと思うんですが。

<座長>

- ・今この場ではデマンドの詳細について話すことではなく、それは市民の皆様とやらなければならない、この会議では事務局にそれをせよということが求められています。

ドアツードアがいいのか他市の例でいい事例があるのか、それは市民との話し合いで検討してもらいましょう。

<委員>

- ・地域の特性を生かした交通というのが、今後の会議で話し合われるということですね。わかりました。

<委員>

- ・やるかやらないかじゃなく、今のコーちゃんバスに代わってやらなければならないとなったときに、運行方法やメリットデメリットを調査研究をしていった方がいいと思います。できれば様々な方式に関して調査研究をして進めて頂けたらと思います。

<事務局>

- ・磐田市、袋井市でやっている事例を、地域要望やメリットデメリットを昨年の担当が調査したところでもあります。ほかの市町の事例においても研究しているところです。

<座長>

- ・この資料2の1枚で課題が出てくるのが気になる。これだけたくさんの資料があるので、地域特性とというのがあるとするのなら、例えば、白須賀地域に病院がないということですね。

<委員>

- ・白須賀地区には歯医者があります。

<委員>

- ・白須賀地区に医師を要請するのが難しいところがありまして、何年前に医者が0になってしまった。

<座長>

- ・つまりそういった地域特性を考えると、白須賀の方にとってみれば不安材料が多い、だから病院にいけるような仕組みがなければならないということですが、そういう状況で生活しているのであればそれをどうしてあげるかということを整理するのが大変大事です。

他市の例を出すと通院支援タクシーということを実施している市町もある。そういう仕組みだって

あるので、地域に出向いて意見を集約する、意見を整理するということをしてほしい。

何のためにあるかということ、生活するためにバスがあるということ考えてほしい。

<委員>

- ・資料2について、この表(資料3)から突然飛ぶのが理解しにくい。市の幹部3人おりますので、県、機関の方とか湖西以外の方には説明の仕方をわかりやすくしたらどうですか。私は湖西市のことを知っているの程度程度理解できるのですが、このA3だけではわかりません。

この場ではわかりやすい説明を求めます。「このエリア」と言われても、外部の人にはわからないし意見も言えない。

また、資料の差し替えについても、資料を訂正するにしても、せっかく事前送付してもらって事前に準備してきているのに、全とっかえではなくて付け加えた点についてもわかりやすくしていく必要がある。

<座長>

- ・事務局は資料の変更点については記載を、事前送付のあり方などは検討をお願いします。

<委員>

- ・課題の③についてですが、観光行政には関心があるが、地域の公共交通と外からの観光客をどのような形で融合させるかというのは難しいところだと思います。

市民に対して税金を投入しているので、観光施策ということですが、湖西市民の声しか聴いていないので、できれば、観光のニーズを検証したうえで課題にした方がいいのではないのでしょうか。

コーちゃんバスが観光バスにあっているのかももう少し検討した方がいいのではないかと思います。

観光目的は、将来目的としては色々な人が乗れるといいなということだと思いますが、湖西市内に住んでいる方の声だけだと思うので、観光目的に利用しようとするなら、市街の人の声も聴くようなアンケートも実施してみたらどうかと思います。

<事務局>

- ・以前から観光ということだと、例えば新居地区に限定されるが、そういった交通サービスを考えてほしいと、市民からも声が大きくなりつつあります。

昨年の実験運行で旅籠祭りのときに外部の人も含めてバスを運行し、外からのお客さんを拾うとか、土日運行など、エリアを限定したモードを展開できるか考え、今回の形成計画は、まちづくりや、観光施策も重要になってくるころなので、他の観光部局や商工会との意見も聞きながら、この計画を作っていこうと考えています。

<座長>

- ・主な課題③というのはまちづくりとリンクしている話だと思うが、この課題の中には観光施策との連携はくみ取れないですね。観光という言葉をつかうのか、言葉は観光でなくてもいいと思うが、住民だけじゃなくて、市街から来ていただく方へのサービスはどうするんだというのは少し入れた方がいい

いと思います。

今観光とおっしゃったが いわゆる形成計画には観光施策との連携とあるが、観光施策「等」との連携で観光に限らない。湖西に来る人たちへの配慮をどうするのかというのは大事なポイントだと思います。データはどうなんだということ、湖西に来てくれる人が増えているのかどうか、いろんな状況が考えられる。どんな文章をいれるのか、主な課題は4つでいいのかもう一つプラスするのか検討してください。

<委員>

- ・資料2の集約型都市について説明させていただきます、資料3の5Pです。これは新所原、鷺津駅、新居町駅があります。赤く塗られているところですが、市街化区域といいまして、家が建つところですが、将来的には人口減少が考えられるので、これらがもっと将来的には集約していかなければならない、格好になるかと考えています。

商店や公共施設に関しても、歩いて行けるような距離に将来的に集められるのか、集約していかなければならないのかと考えています。

一方、5ヶ町村の合併に関してですが、主要集落地エリアというのがございます。また、黄土色が指定大規模既存集落地といいます。たとえば知波田駅周辺や入出、大知波、新所 白須賀の坂下、坂上将来はここが市街地と結ぶ場合単純なピストン輸送になるかとも考えられます。

一日何本運行するか、これからどのように運行していくのか、聞き取りしながら進めていくなかと思います。

市街地に関してはやはり循環型でいいのかと思います。資料2課題の①の上から3番目に市内全域にきめ細かなバスサービスとあります。目的地につくまで色々な場所を迂回して時間がかかりすぎでしょうがないので、ある程度割り切って、地域の集約が必要かと考えます。

最後に資料3の57Pご覧ください、移動してもいい徒歩での移動手段のグラフですが、その次ページにも遠鉄バス浜名とありますが、おそらく自主運行バスのことではないかと思しますので、説明をお願いします。

<事務局>

- ・58pの上の徒歩でのバス停の範囲のグラフは自主運行バス浜名線ですので、訂正をお願いします。

<座長>

- ・都市計画マスタープランの中で集約連携型都市構造を目指すとなっているので、それに沿うということですね。

まとめますと、資料2の公共交通の主な課題に関しては、先ほどのご指摘も踏まえまして、私と事務局とで整理したいと思います。4項目になるのか5項目になるのか、それとも言葉上なのかそういった要素を詰め込むのかという調整をお願いしたい。

主な課題の言葉云々ということではなく、地域特性が次の施策展開に向けて整理がいることだろうと思います。それはデマンドも同じですね。整理の仕方にもよるが、わかりやすくやろうとするとページが増えたり、減ったりがあるので、次の時までには考えていきましょう。

整理の仕方をもう一度考えます。課題そのものについては、こういうものがあるということをご理解頂きたいと思えます。

今の課題を踏まえまして、方針をどう考えるかというのが提案されていますので、そちらに移りたいと思えます。

事務局は説明をお願いします。

協議事項② 地域公共交通の基本方針（案）について

<事務局>

- ・資料4について説明

<委員>

- ・資料4の2Pの課題④、各種団体が連携して課題を検討する必要があるというが、市の方として経費が増えている状況で、経費削減としてデマンドを取り入れるということも考えているとのことでしたが、観光とデマンドは相いれないということで、運行費用や経費のマイナス部分を市が負担するのではなく、地域が負担しているという事例もあるので、湖西市としてはどこまで考えているのか教えて頂きたい。

湖西市は市が主導というところもあるので、地域の人が交通を活性化ということはあまりみられないのでどう考えているか教えてください。

<事務局>

- ・地域バスなど豊田市さんの例などを研究させて頂いておりましたが、地域が主体となって自己負担までしてバスを走らせようということがあるのか、地域が主体となってということに関しては、まだまだ湖西市にその仕組みがマッチしないなと思うところがありました。例えば、当時NPO白須賀というものが、自分たちマイクロバスを走らせる話がありましたが、ただ話が出ただけで実際計画、実施までは至らず解散となりました。

ただ、声が上がっただけでも、地域の人からすれば店などがなくなり、困ったからそういう動きをしようとしたわけなので、今後そういう声が上がった時には、市が丸抱えでバスを走らせるというよりは、地元の皆さんと一緒にバスを走らせられるよう、考えるような仕組みを作るべきかと思えます。そういった地域バスという意識がでてくるとありがたいと思えます。

<委員>

- ・地域バスは聞こえはいいが、実際走らせると、交通事故とか責任がどうするかと問題が出てくると思えます。NPOであればその団体が責任が取れるのかどうか、会社であればそこは明確だが、運転手はおそらくボランティアで来てもらえば、その責任はボランティアの人になるので、その辺りを考えて頂きたい。

NPO佐久間でも、運転する人が高齢化してしまい、運転手がないという問題もあるので、将来的な視野をもって取り組んでください。

<委員>

- ・基本方針④の表現ですが、多様な主体の事業評価を踏まえ・・・とありますが、課題の④を受けての記載になるので、事業評価自体も必要かと思いますが、取り組みであるとか利用促進策を記載したり、取り組みなどをいれてもらえたほうがいいと思います。

<座長>

- ・文章を読むと事業評価を協働連携でやると読めるけれども、課題からの表現としては違うのではという事です。

<事務局>

- ・課題に対応する、ふさわしい言葉にかえさせていただきます。

<委員>

- ・今まで、市民の方を流す手段という意味合いで聞いておりましたが、基本方針案の交通将来像については「交通環境」と書いてありますが、器としての「交通環境」ととらえると、ハードも含んだものととらえられますが、今までの資料では出てこないで、どういう意図でしょうか。

<事務局>

- ・これに関しては利用しやすい環境、ソフト面としての意図ですが、誤解を招きやすいということであれば違う言葉に換えていきたいと思えますし、お知恵をお借りしたい。

<座長>

- ・私も交通将来像となっているので、交通環境というとハード面も含めて、と私は理解しました。

<委員>

- ・この交通環境を幅広く考えると、バスの車両整備だとか、バス停環境の整理などのハードや、バスの運転手の対応などソフトを含めた言葉ととらえられるので、私はこれでも構わないと思います。

<委員>

- ・「交通環境」に変えて「地域公共交通」が充実した街ではいかがでしょうか。

<事務局>

- ・地域公共交通網形成計画の基本理念としてとらえてますので、「交通環境」が色々なとらえ方があるということで「移動環境」が充実という言葉など、もう一度考えたいと思います。

<座長>

- ・将来像を「交通環境」という大きな要素でみるか「公共交通」で考えていくのかということになると思います。湖西市の交通というのは必ずしも公共交通だけではないです。そのために交通戦略「ハー

ド」も考えているわけですね。

地域公共交通の課題から将来像がくるからわかりにくい。将来像は総合計画やマスタープランから持ってきたものから掲げるもので、課題→将来像→基本方針とするからわからなくなるし、将来像は課題からでるものではなく、総合計画を踏まえマスタープランを踏まえ、基礎将来像があり、交通がこう支えるべきというのがあり、公共交通課題があり、それとリンクさせるとこういう方針がでるといふ流れにするとわかりやすい。

<委員>

- ・資料の下もみると地域公共交通なので、「交通」将来像となると一般人からみたら、道路整備とかハード整備面も含めたものが交通将来像ととらえる人が多いと思う。「地域」とついていけばよかったが、交通だけだと全てととる人が多いと思う。

<座長>

- ・この流れで記載すると解釈しづらいので、この表現に関しては、出し方を考えましょう。交通将来像を考えようという言葉にすると広い意味になってしまう。

形成計画は都市の将来があって、それを支える交通の方向があって、その一部分として公共交通がこの役割を持つというようにするとわかりやすいようになる。ご指摘の通りだと思うので整理させて頂きたい。公共交通施策の基本方針でいいのか、公共交通の基本的な考え方はこの方針ですということですがどうか。

私が気になるのは鉄道、路線、コーちゃんバスタクシーと決めてしまっているが、固定でいいのか。「等」にすべきではないだろうかといった点が気になる。

<委員>

- ・資料3の59Pの地域の公共交通を維持するために取り組んでもよいと思うという問いに対して、地域が主体となり、「地域特性やニーズに応じた新たな公共交通を運行する」の項目が白須賀、入出ではトップになっております。このことから、基本方針①を記述のものに限定すべきではないと思います。

<座長>

- ・これだけじゃないですね、新たな交通の仕組みを考える・・・など、表現は考え整理しましょう。

<委員>

- ・協議1のところ課題が出たが主な課題や方針は4つか5つかということになるかと思いますが、ここでこのように固めてしまうのか、次回会議で最終的にきまるのかどうでしょうか

<事務局>

- ・次回会議までに今回の意見を踏まえて協議に図りたいとおもいます。

<座長>

- ・本日の意見を踏まえて、次回会議に正案を出す方向で進めたいと思います。

また、高齢社会への対応等と前段にあるが、お年寄りがどうしても主体かと捉えられると思います。先ほど事務局からあった色々な人に使っていただきたいということになると、この高齢社会の対応・・・となるとこれがメインに感じられる。この文章だけだとそう取れるので補足するか表現をどうするか考えましょう。

<委員>

- ・各種まちづくり施策の各種ってなんでしょう。少し唐突なのでもう少しわかりやすくお願いします。

<座長>

・今ご指摘いただいた点を整理しまして、次回報告させていただきます。基本方針①が基本的に日常生活を支える。基本方針②がわかりやすく利用しやすいように。基本方針③が観光振興交通政策+ほかの公共交通と連携する。基本方針④がこれからの持続可能な連携を継続して展開する体制づくりを考えたいという方針だと思います。言葉などは整理して考えていくということでもよろしいでしょうか。

この方針だと湖西じゃなくても通じるので、湖西市としての施策としてどういう展開していくかという点が気になるので、湖西らしさ、強みや課題を盛り込んでいくことが課題でしょう。

皆様にもご指摘をお願いしたいと思います。12月の時点でもう一度正案として図りたいと思いますのでよろしくお願いします。

その他をお願いします。

5 その他

<事務局>

資料5に基づきグループインタビューの実施について説明。

<委員>

- ・この場所だと、車に乗れる人が集まると思います。できるだけ幅の広い層の意見を聞いてほしい。在宅の高齢者が増えてますがそういう人にどうやって利用していただくか聞いてほしい。こうやってやると50歳、60歳の車に乗れる人が集まると思うが、それではその人たちの意見をもらうだけでは地区の意見とするには弱い。障がい者だとか、高齢者の意見のとりこみには気を付けてやってほしい。難しいと思うが。

<委員>

- ・車ばかり利用する人の意見を聞いてもあまり意味はないと思います。

南部構造センターだと車に乗れる人じゃないと行けない。入出の地域などは歩いていけると思うが、南部は歩いて行ける距離じゃないので、役員が高齢者を連れて行くなども難しいので、やはりバスを使ってない人になってしまうかもしれない。

歩いて行ける場所で開催の地域にあるところはいいかもかもしれない。

防災センターなどでも集めるのが大変だと思います。役所で集めても意見は聞けないし、私の組織でも昔は一緒に乗っていけばいいとっていたが、今は高齢化で、事故の確率も高く、なかなか移動できない。人を集めて一カ所でやるというのは難しい。

<委員>

- ・防災センターとすれば、旧鷺津地区になるだろうと思いますし、車で来るにしろ来ないにしろ、正しい意見の集め方を念頭に実施してください。難しいと思うが。

<座長>

- ・他に意見、ご指摘がありましたら後程事務局までお願いします。

<事務局>

- ・次回の開催は12月を予定しております。開催日程についてはまた通知させていただきます。

<事務局>

- ・それでは第3回会議を終了いたします。

以上